

2026年度

枚方市立第四中学校

1年1学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3) ※高校による

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進度等により、多少変更する場合があります。

国語【1年1学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
4月	4月 詩:朝のリレー 物語文:竜 【音声のしくみとはたらき】	詩:詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有できる。 情景を想像しながら音読し、詩の構成や表現の効果について考えられる。 物語:描写をもとに三太郎の心情の変化を捉えられる。 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考えられる。 音節や五十音図のしくみについて理解できる。
5月	5月 説明文: ペンギンの防寒着 クジラの飲み水 【活字と手書き文字】	説明文: 文章の構成や展開など、読み手にわかりやすく伝えるための筆者の工夫を捉えられる。 段落と段落の関係に注意しながら、文章の内容を読み取れる。 活字と手書き文字の特徴、筆順の意義や漢和辞典の使い方がわかる。
	文法:言葉の単位 (文章・段落・文・文節・単語) 文の成分 (主語・述語・修飾語・ 接続語・独立語)	言葉の単位などの基礎知識や、文の成分について理解できる。
	・単元テスト<範囲:詩・物語文・説明文・その他> ・漢字小テスト・文法テスト ・授業の取り組みの様子 ・提出物(ふり返りシート・授業プリント・作文・課題・漢字ノート・自主学习ノート 等)	
6月	物語文: 空中ブランコ乗りのキキ 随筆: 字のない葉書 文法:文の成分 (文節の関係) 【成り立ちと部首】	描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉えられる。 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにできる。 場面と行動描写などを結びつけて、内容を読み深められる。 描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉えられる。 文の成分を確認するとともに、文節の関係について理解できる。 漢字の成り立ちや部首についての理解を深められる。
	期末テスト<範囲:漢字・物語文・随筆・文法> ・漢字テスト ・授業の取り組みの様子 ・提出物(ふり返りシート・授業プリント・作文・課題・漢字ノート・自主学习ノート 等)	

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	30%	定期テスト・単元テスト・小テスト 等
② 思考・判断・表現	40%	定期テスト・単元テスト・作文・授業内での課題 等
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	授業に取り組む姿勢・提出物 等

社会【1年1学期】

月	大単元		到達目標
4	第1編 世界と 日本の 地域構 成	第1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解する。 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し表現できる。
5		第2章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し、理解する。 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し表現できる。
・単元テスト(2回) ・単元レポート(1回) ・予習プリント(3枚) ・ふりかえりプリント(2枚)			
5	第2編 世界の さまざま な地域	第1章 人々の生活 と環境	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりしていることを理解する。 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。
6		第2章 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。
・単元テスト(2回) ・単元レポート(1回) ・予習プリント(3枚) ・ふりかえりプリント(1枚)			
6	第1章 歴史へのとびら		<ul style="list-style-type: none"> 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。
7	第2章 古代ま での 日本	1節 世界の古代文明 と宗教の起こり	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まり世界の古代文明や宗教のおこりなど、人類が生み出していったものを多面的・多角的に考察し、表現できる。
		2節 日本列島の誕生 と大陸との交流	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。
・単元テスト(2回) ・単元レポート(1回) ・予習プリント(2枚) ・ふりかえりプリント(2枚)			

観点別学習状況の評価対象と内容

①知識・技能	40%	単元テスト・期末テスト・予習プリント
②思考・判断・表現	30%	単元レポート・期末テスト・ふりかえりプリント
③主体的に学習に取り組む態度	30%	単元レポート・期末テスト・提出物(予習プリント・ふりかえりプリント・ノート)・授業に取り組む姿勢

数学【1年1学期】

月	教材の種類・単元名	到達目標
4	1章 正の数・負の数	・素数の意味、素因数分解について理解する。
5	・正の数・負の数	・正の数、負の数の意味や大小関係や絶対値について理解する。
	・正の数・負の数の計算	・正の数、負の数についての四則計算の方法を理解し、計算ができる。
		○単元テスト(知識・技能)
	・正の数・負の数の利用	・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。
		○単元テスト(思考・判断・表現)・単元レポート
6	2章 文字の式	・文字のもつ意味を理解し、数量関係を文字で表すことができる。
7	・文字を使った式	・式中の文字に数値を代入して、式の値を求めることができる。
	・文字式の計算	
		○単元テスト(知識・技能)
	・文字式の利用	・身の回りの場面から問題を設定し、文字式を利用して問題を解決することができる。
		○単元テスト(思考・判断・表現)・単元レポート

観点別学習状況の評価対象と内容	
① 知識・技能 (約 35%)	期末テスト・単元テスト・
② 思考・判断・表現 (約 30%)	期末テスト・単元テスト・レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度(約 35%)	ふり返しプリント・ワーク・解き直しプリント・レポート

理科【1年1学期】

		教材の種類・単元名	到達目標
理 科	4月	自然の中にあふれる命	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物に興味をもち、問題を見出している。 ・身のまわりの植物を観察し、観察用具の使い方やスケッチの技能を身につけることができる。 ・生物の共通点や相違点を相互に関係づけて分類できることを理解する。 ・生物のなかま分けについて、粘り強く探求しようとしている。 ・生物を分類するためには、共通点や相違点などを基に、観点と基準を設定することが必要であることを理解する。
	5月	いろいろな生物と その共通点 1章 植物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・花のつくりの規則性や、共通点と相違点を見いだすことができる。 ・被子植物と裸子植物の特徴の共通点と相違点を見いだすことができる。 ・単子葉類と双子葉類の特徴の違いを理解する。 ・種子をつくらない植物にはシダ植物とコケ植物があり、胞子でふえることを理解する。 ・学習した植物のなかまごとの特徴の違いを手掛かりに、種類のわからない植物を観察し、どのなかまに分類されるかを、推論することができる
	6月	2章 動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の体のつくりと生活について、自分の考えを表現することができる。 ・動物が背骨の有無によって分類できることを理解する。 ・脊椎動物を特徴に基づいて、5つのグループに分類できることを理解する。 ・昆虫類や甲殻類の形態的特徴をもとに、節足動物に共通する特徴を見いだすことができる。 ・節足動物や軟体動物のおもな特徴を理解する。
	7月	光・音・力による現象 1章 光による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・ものが見えるしくみについて、説明することができる。 ・空間中での光の進み方について、作図を用いて説明することができる。 ・鏡にうつるもの見え方について、作図を用いて説明することができる。 ・材質の異なる透明な物体中を進む光の進み方について、作図を用いて説明できる。 ・凸レンズでの物の見え方について、作図を用いて説明できる。

観点別学習状況の評価対象と内容

①	知識・技能	約33%	小テスト・期末テスト・課題
②	思考・判断・表現	約33%	小テスト・期末テスト・課題
③	主体的に学習に取り組む態度	約33%	提出物・課題

音楽【1年1学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
4月	思いを込めて明るい声で合唱しよう。	・歌詞に込められた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌うことができる。
	楽しいリズム曲を作ろう。	・リズムを組み合わせることで、うまれるリズムの面白さを感じとって創作することができる。
	イメージがもたらす音楽の秘密を探ろう。	・音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目しながら聴くことができる。
5月	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	・作曲者が情景をどのように表現しているのかに注目し、合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴くことができる。
	思いを込めて明るい声で合唱しよう。	・歌詞に込められた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌うことができる。
	楽しいリズム曲を作ろう。	・リズムを組み合わせることで、うまれるリズムの面白さを感じとって創作することができる。
	○テスト:小テスト(春)、創作(リズム)	
6月	LESSON1〈左手による運指〉	・左手の運指やアーティキュレーションに気を付けながら、吹き方を工夫して演奏することができる。 ・全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏することができる。
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	・作曲者が情景をどのように表現しているのかに注目し、合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴くことができる。
	○テスト:歌唱(主人は冷たい土の中に)	
7月	LESSON1〈左手による運指〉	・左手の運指やアーティキュレーションに気を付けながら、吹き方を工夫して演奏することができる。 ・全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏することができる。
	曲の構成やパートの役割を感じ取って合唱しよう。	・主旋律と副旋律の役割や、旋律の重なり方の違いに気を付けて、表現を工夫して歌うことができる。

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	35%	小テスト(春)・実技テスト(歌唱:主人は冷たい土の中に、創作:リズム)
② 思考・判断・表現	35%	実技テスト(歌唱:主人は冷たい土の中に、創作:リズム)
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	・ワークシート(創作:リズム創作、鑑賞:春) ワークシート(創作:リズム創作、鑑賞:春)・忘れ物・授業への取り組み

美術【1年1学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
4月 5月	つなげて広がる模様の世界(色彩構成) <デザイン>	形や色彩の特徴やイメージに着目し、意図に応じて工夫して表すことができる(知識・技能) 自然界や人工物の特徴から主題を生み出し、調和のとれた美しさを考えて構想を練ったり鑑賞したりすることができる(思考・判断・表現) 楽しく模様を生み出す活動や模様を鑑賞する活動に取り組むことができる(主体的に学習に取り組む態度)
6月 7月	文字が生み出すイメージ(カップ麺のデザイン) <デザイン>	文字や文字が意味するものの形や色彩、イメージに着目し、絵具などを工夫して見通し持って表すことができる(知識・技能) 文字の意味やイメージ、伝える場面をもとにわかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる(思考・判断・表現) 意味や美しさなどを考えて文字をデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる(主体的に学習に取り組む態度)

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	30%	作品等
② 思考・判断・表現	40%	計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表等
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	授業態度、提出期限、Fシート等

保健体育【1年1学期】

		単元	到達目標
保 健 体 育		集団行動・体づくり運動 スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の基本を理解し、素早く行動することができる。 ・体力の状況を知り、将来に向けて体力を高めることを考えることができる。
		器械運動(マット)	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解するとともに、技がよりよくできるようにする。
		バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できる。
		保健 (健康な生活と疾病の予防)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の成り立ちや、食生活・運動・休養・睡眠・調和のとれた生活について理解する。
	通知票の観点別学習状況の評価対象と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能・・・技能テスト・小テスト ・思考・判断・表現・・・技能テスト・振り返り・授業の様子 レポート ・主体的に学習に取り組む態度・・・授業態度、忘れ物、見学 出欠状況・ワーク提出 	<p>約 50%</p> <p>約25%</p> <p>約25%</p> <p>計100%</p>

技術家庭【1年1学期】

技術		
	教材の種類・単元名	到達目標
4月 5月	技術分野のガイダンス	身の回りにおける技術について理解を深める
6月 7月	材料と加工の技術	材料ごとの特性の理解
家庭科		
	教材の種類・単元名	到達目標
4月	家族と家庭生活	○生活を支える家族。家庭の機能について理解する。 ○家族や地域の人々と協力協同して家庭生活を営む必要について考えることができる。
5月	食事の役割と中学生の栄養の特徴	○食事の役割と栄養の特徴を知る。 ○中学生に必要な栄養の特徴を知り、自分の食生活について考えることができる。
6 7月	衣服の選択と手入れ	○衣服のはたらきを踏まえて、TP0に応じた衣服を考え説明できる。 ○日本の衣服の文化を知り、よさを説明できる。 ○衣服の材料や状態に応じた手入れができる。

内容点別学習状況の評価対象と内容			
以下の①②③を均等の割合で評価します			
①	知識・技能	30%	提出物・定期テスト・実習製作品
②	思考・判断・表現	40%	定期テスト・提出物・実習製作品
③	主体的に学習に取り組む態度	30%	授業態度(意欲・提出物など)

英語【1年1学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
4月	○Get Ready ○フォニックス	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ人物・建物・場所・位置等を表す語句や表現などについて、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。 ・簡単な語句や文を用いて、できることや好きなものなどについて、たずねたり答えたりすることができる。 ・好きな教科やできること、誕生日や出身地などについて、簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合うことができる。 ・クラブ活動についての紹介文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・自分の入りたいクラブ活動や自分ができることについて、簡単な語句や文などを用いて書くことができる。 ・英語の文構造についての理解をもとに、英文を書くことができる。 ・アルファベットのつづり字と発音の関係(フォニックス)などの理解をもとに、単語を正確に読んだり聞き取ったりすることができる。
		ライティングテスト(英文を書く時のルール)、フォニックステスト(発音・読むこと)
5月	○Program1 -友達を作ろう- ○Program2 -1-Bの生徒たち- ○フォニックス	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞(肯定・否定・疑問)や where の疑問文などの意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・自己紹介についての対話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・自分のことについて書いたり、質問に答えたりすることができる。 ・一般動詞(肯定・否定・疑問)や when の疑問文などの意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・登場人物の趣味についての対話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教室の様子を相手にわかってもらえるように、数を質問したり、答えたりできる。 ・英単語の発音のルールについて理解を深め、基本的な語句について聞いて語句を理解できる、語句を見て発音することができる。
		Talk and Talk のスピーキングテスト、単元テスト、レポート(be 動詞・一般動詞)
6月	○アクションコーナー ○Program3 -タレントショーを開こう- ○理想のロボット ○フォニックス	<ul style="list-style-type: none"> ・命令文の意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・助動詞 can(肯定・否定・疑問)や what の疑問文の意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・タレントショーについての対話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・夢のロボットを考えて、5文程度の英文でロボットの魅力を表現し、ポスターを作成することが出来る。 ・英単語の発音のルールについて理解を深め、基本的な語句について聞いて語句を理解できる、語句を見て発音することができる。
		Talk and Talk のスピーキングテスト、ポスター(理想のロボット)、単元テスト、レポート(can)

7月	○Our Project1 -あなたの知らない私- ○Power-Up1 -ハンバーガーショップへ行こう- ○Program4 -Let's Enjoy Japanese Food-	・マッピングの使い方を理解し、活用することができる。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「あなたの知らない私」というテーマのスピーチを英語ですることができる。 ・飲食店で注文するために、簡単な語句や文を用いて、自分が食べたいものやその金額などを伝え合うことができる。 ・This[That] is～.や He[She] is～.の意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・who の疑問文や人称代名詞の意味や働きを理解し、活用する技能を身に付けている。 ・日本の食文化について他の人に伝えるために、対話を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・日本の食文化について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。
	Talk and Talk のテスト、単元テスト、パフォーマンステスト(自己紹介)、レポート(this・that・he・she)	

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	35%	定期テスト、単元テスト、パフォーマンステスト
② 思考・判断・表現	35%	定期テスト、単元テスト、パフォーマンステスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	ノート、Talk and Talk、レポート 振り返り(単元、定期テスト、パフォーマンステスト)